

2017年度 第3回 9月 難関大本番レベル記述模試

日本史B・採点基準 記述・記号部分

◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

1 原始・古代の史料（2点×10=20点）

2 東寺百合文書（2点×4=8点）

3 江戸時代の文化（2点×10=20点）

4 日露・日ソ関係（2点×10=20点）

5 財閥と企業集団（2点×10=20点）

*注意事項・許容解など
特になし。

論述部分

◆論述問題・添削記号◆

難関大本番レベル記述模試・日本史Bの採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. <□□□□> | 加点要素 |
| 2. □□□□
<u>~~~~~</u> | 表現に難あり |
| 3. □□ [∨] □□ | 文要素の欠落／脱字 |
| 4. □□ [×] □□ | 誤字（略字を含む） |
| 5. □□□□ ^x | 内容に誤りあり |
| 6. 「□□□□」 | 設問要求に答えていない |

◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある）。
2. 加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。（太字・アミカケ□□→**2点**以内、二重線□□→**1点**、下線□□→**0点**）
3. **歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
4. 欄外に設問記号を記した答案や、句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は、本番では無効答案になる可能性もある。しかし、受験生の学力を正確に測定するという観点から、あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き、採点の対象とする。
5. 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

2 東寺百合文書（論述部分）

問2 1159年の戦乱

◆加点要素の合計4点→4点満点◆

◎1159年の戦乱の戦後措置

- a 平治の乱 (の措置だった) …………… 1点以内
 - b 平清盛 (がおこなった) …………… 1点以内
 - c 源頼朝を伊豆に配流した …………… 2点以内
- ※「源頼朝を（地方に）配流した」は1点

問6 中世の加賀国

◆加点要素の合計10点→8点満点◆

◎中世（15世紀後半以降）の加賀国

- a 蓮如が布教した …………… 1点以内
 - b 布教に際して御文が用いられた …………… 2点以内
- ※「講が組織された」は1点
- c 北陸（地方）で浄土真宗〔一向宗〕が広まった／北陸（地方）で（浄土真宗の）門徒が増えた …………… 2点以内
- ※「浄土真宗〔一向宗〕が広まった」・「門徒が増えた」は1点
- d 加賀の一向一揆が結ばれた …………… 2点以内
- ※「一向一揆が結ばれた」は1点
- e 一向宗の一揆が（加賀の）守護（大名）の富樫政親を打倒して（加賀国を）支配した…………… 3点以内